

令和6年度以降小学校使用教科用図書採択結果及び理由一覧表

種目	発行者 番号	発行者略称	採択理由
国語	38	光村	伝統的な言語文化に触れる題材が取り扱われていたり、6年間を通して季節にまつわる言葉を学習できるコラム単元が設定されていたりと、語彙の獲得につながりやすい。説明文を2つ並べ、まず短い教材文で構成や文章の特長等について練習学習を行い、次の文でその学びを活用しながら読み進めるようになっていく。単元ごとに、目標とリード文で児童に分かりやすく学習の観点を示し、学習の手引きでは児童が文中のどこに注目すればよいのかが明確になっているため、学習の見通しがもちやすい。単元のはじめに、学習の内容が書かれており、何を学習するのか児童が分かりやすい。挿絵や写真が豊富で見やすく、理解の助けやイメージ化に役立つ。
書写	2	東書	硬筆、毛筆の入門期には、運筆が分かりやすいように擬態語やイラストを使って視覚的に捉えやすくなっている。全学年で2単元ずつ、活用教材を設けてあり、他教科での関連学習や具体的な活用例が示され、言語活動も充実している。活動内容がマークで表されているため、児童が分かりやすく、主体的な学習態度の育成にも役立つ。全学年を通して3段階の共通イラストが掲載されており、系統的にも、次の学年や単元でもスムーズに学習活動が行えるよう工夫がなされている。毛筆の導入では、筆の強弱を写真で載せてあるため、力の加減が分かりやすい。
社会	2	東書	単元で身に付ける重要語句が、「ことば」の欄で分かりやすく説明され、基礎・基本の定着が図られる。同じく、単元ごとに「課題と今後の取り組みについて」考えるページが設けられており、思考力、判断力、表現力を身に付けさせるのに適している。導入段階で、学習問題を設定するまでの思考の流れが分かりやすくなっており、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が示され、問題解決的な学習が進めやすい。また学習の進め方として、学習問題の立て方、調べ方、まとめ方という流れがすべての単元で一貫しており、児童にとっても分かりやすい。資料が精選されており、本文を読みやすくするために、周囲に適切に配置されている。
地図	46	帝国	「地図のきほん」や「地図のやくそく」のページでは、地図がどのようなものなのか、方位や地図記号、土地利用等について丁寧に説明されており、基礎・基本の習得につながりやすい。SDGsのページが設けられており、現代的な課題を取り扱う際に活用できる。QRコードを読み取ることで、様々なコンテンツを使用しながら、児童が主体的に学習を進めることができる。防災や歴史の年表等も掲載されており、授業中に活用することができるようになっている。フォントの種類やサイズを使い分けてあるため、児童にとって見やすい地図となっている。
算数	61	啓林館	単元の終わりに、「学びのまとめ」として、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の流れを設け、学習の内容の確認ができるようになっている。また、単元終わりの「やってみよう」では、学習内容を活用して発展問題に取り組むようにしてあり、思考力、判断力、表現力の育成に効果が期待できる。関係図・テープ図・線分図・数直線を活用した指導を大切にしているため、児童の思考の流れや理解度に合わせて解決方法を選択することができ、主体的に学習に取り組めるようになっている。目次には、単元ごとに「これまで学んだこと」として、関連する学年と単元名が示されており、系統性が分かるようになっている。内容が伝わりやすい配色、デザインを用いるなど、ユニバーサルデザインも意識されている。
理科	4	大日本	どの単元においても、学習の流れが同じように構成されており、児童にとって分かりやすい。実生活に関連付けられるような話題を取り上げるとともに、日常生活や社会が抱える問題をコラムとして掲載している。各単元の問題を見つげるところにおいて、基本的に2つの写真をもとに比較することで、児童が自ら問題を見いだすことができ、主体的に学習を進めることができるような構成になっている。他教科や領域間の内容のつながりを考慮し、相互の関連を図って児童が見通しをもった学習を展開できるように配慮されている。写真や図・文字が大きく、構成もすっきりしているため、児童にとっても使いやすい。
生活	17	教出	生活科で育成する資質・能力を6つの力として小単元名の横に掲載し、児童がめあてをもって学習に取り組むことができるようにしている。また、児童が対象の多様性に気付いたり、自分の生き方について考えたりすることができるように、「もしもコーナー」を設け、学習してきたことを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。ウェビングやエックスチャートなど、考えたことを分類・整理したり、まとめたりする学習活動例が掲載されている。巻末の「学びのポケット」は、他教科の内容と関連させながら、学びを深めたり、広げたりすることができる。全体的に、見やすく、読みやすい文字を使用するとともに、文章を分ち書きで表示したり、意図的に改行したりすることで読みやすい文章を掲載している。

音楽	17	教出	各教材のページに「音楽のもと」コーナーがあり、「音階・調・音の重なり」など「音楽を形づくっている要素」が示されている。鑑賞教材で自分の思いを表現する際の言語集が掲載されており、友達と協働しながら、音楽表現を生み出したり、鑑賞したりして、そのよさを考える学習の充実を図ることができる。学習マップが掲載されており、一年間の見通しをもって学習に臨むことができる。国語科の教材の歌や、外国語の歌が掲載されており、他教科等との連携を図ることができる。写真がとても美しく鮮明で、歌詞も見やすく、視覚的にイメージを広げながら、曲のよさを味わうことができるように工夫されている。
図画工作	116	日文	児童が、一目見て分かるように、造形遊びをする活動、絵や立体、工作に表す活動、鑑賞する活動をバランスよく配置するなど、図画工作科の目標・内容を意識してつくられたことが分かる。教科書の各ページに、学習指導要領における育成したい3つの資質・能力を、ピクトグラムを用いて児童にも分かりやすく掲載している。題材間に「図工のみかた」を配置し、児童が生活や社会の中に目を向けることができるようにしている。教科書の各ページの右下に、「つながる学び」として、他教科や他領域の名前を表示し、その関連性を明示している。参考作品や活動に使用されている写真や画像は、鮮やかなものが使用されており、児童が見やすいようにレイアウトが工夫され、背景の色も統一されている。
家庭	2	東書	巻頭、巻末の「いつも確かめよう」に、安全に関することや、調理や制作実習の基礎的技能に関することがまとめてあり、児童が確認をしやすい。それぞれの単元名、めあて、学習の流れ、振り返りがきちんとつながっており、課題解決に向け思考を促し、考えたことや今後の生活に生かしたいこと等が表現しやすい単元構成になっている。動画コンテンツが充実しており、児童の自主的な学習を促進する効果が期待できる。全体的に写真が大きく、特に食材や裁縫道具等の写真は、実物に近い大きさになっているなど、児童にとっても分かりやすい。誰にとっても読みやすいUDフォントがされている。
保健	2	東書	単元の最後に「まとめる・生かす」の項目があり、内容の確実な習得が期待できる。ステップ3（深める・伝える）で、学習したことをもとに考え、筋道を立てて説明する活動を位置付けており、習得した知識を言語活動や体験的活動等により活用することができるように工夫がなされている。全ての項が、ステップ1（気づく・見つける）、ステップ2（調べる・解決する）、ステップ3（深める・伝える）、ステップ4（まとめる・生かす）の4ステップで構成されており、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしている。全体に、学年や他教科との関連が分かりやすく明示され、教科横断的・系統的な学習ができるようになっている。単元をイメージさせる写真が大きく、単元の学びの系統性が図示されており、児童がイメージしやすい配慮がなされている。
英語	9	開隆堂	単元のテーマに合った楽曲が紹介されていたり、身に付けたい語彙・表現がチャンツになっていたりと、基礎を無理なく身に付けられるように工夫がなされている。海外の小学校や日本の小学校の紹介など、身近な話題が設定されており、児童の表現活動に結びつけやすい。各単元が、自分を見つめたり、他者のことを表現したり、身近な町や日本、そして世界に目を向けたりする構成になっており、児童の意欲を高め、児童自身が話したい、伝えたいと思うような場面設定が採用されている。巻末のCAN・DOチェックで、教材と内容との関係が明示されており、レッスン毎に何を学んだのかが明確に分かるようになっている。基本的に1時間の学習で1ページを学ぶような構成となっており、その時間の学習内容が何であるかが明確に分かるようになっているため、児童にとっても見通しをもちやすい。
道徳	224	学研	教材ごとに「考えよう」として問いが書かれている。児童が実生活において経験しそうな話題を多く取り入れるとともに、心に残った話や出来事、言葉、他者へ伝えたい言葉、自分へのメッセージを記入するページも設けられている。「つながるわたし ひろがるわたし」や「つながよう ひろげよう」など、今の自分と1年後の自分を見つめることができるページが設けられており、学習開きや学習へのきっかけづくりができる。季節感が感じられるような学校行事や伝統的な行事の実施時期などとの関係を考慮して、教材が配列されている。教材の応じた挿絵や写真が効果的に使われており、とても見やすい。